

永田浜のウミガメに関する出来事

1. はじめに

前回会議以降から現在まで永田浜のウミガメに関する主な出来事は以下の2件。

- 1) 当協議会から NPO 法人屋久島うみがめ館の脱退
- 2) 永田ウミガメ連絡協議会による既存の体制での観察会が今年度で終了

2. 各事項の内容

1) 永田浜ウミガメ保全協議会からうみがめ館の脱退

〔経緯〕

- (1) NPO 法人屋久島うみがめ館（以下、うみがめ館）が、事務局に意見書を提出
(H26. 06. 20)
⇒ （事務局）必要に応じて次回の保全協議会で話し合うと回答。
- (2) うみがめ館代表が、大野氏から大牟田（一美）氏に交代（H26. 10. 18）
- (3) 意見書の内容について、うみがめ館から聞き取り（H27. 02. 23）
⇒ （事務局）「次回会議（H26 保全協議会）でウミガメ保護の取り組みとして、卵の移植の是非について会議の議題にあげ構成機関・団体の意見を伺うこととし、意見書そのものについては会議の場で周知する必要はない」と理解。
(このとき、打合せ内容について事務局とうみがめ館で確認し合わなかったため相互の理解に齟齬が生じた。)
- (4) ①海岸法の違法性が解決されていない、②意見書が共有されなかった等を理由として、うみがめ館が保全協議会の脱退届（資料3別紙参照）を会長に提出。（H27. 03. 06）

2) 永田ウミガメ連絡協議会による既存の体制での観察会の終了

- ・平成7年から始まった永田ウミガメ連絡協議会（当時永田ウミガメ連絡会）による観察会の体制が今年度で終了。
- ・来年度以降は、スタッフ、実施体制を一新して観察会を開催する予定。